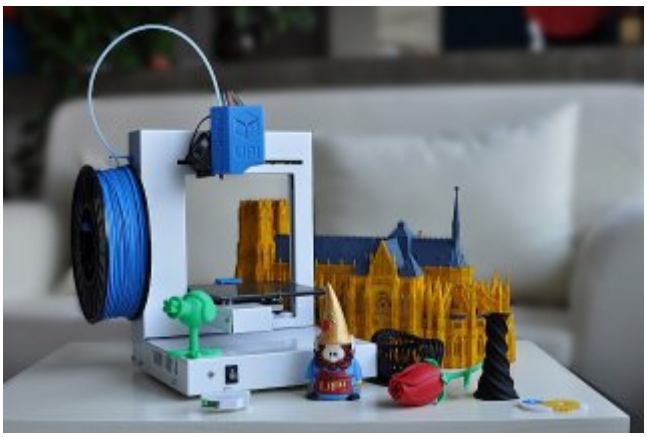
20万円切る最新卓上型３Ｄプリンター、ブルレーが「UP Plus 2」を７月下旬から国内販売



世界最先端のＩＴ機器を手がけるブルレー（ＢＲＵＬＥ，Ｉｎｃ、本社・シカゴ市、社長・ダグラス・クローン）の日本支社（東京）は、本年６月の高精密な最廉価デスクトップ型３Ｄプリンター「MakerBot Replicator2Ｘ」発売に引き続き、２０万円を切る中国Delta Micro Factory corporation 社製卓上型３Ｄプリンター「UP Plus 2（アップ プラス２）」を７月下旬から発売する。
同社は、今後、日本市場でも急速な普及が見込めるデスクトップ型３Ｄプリンターの品揃えを進めており、これまでの企業向けから個人ユーザーへの販売を強化する方針である。
これに即応して、今回、デスクの横に置いて利用できるコンパクトタイプで、価格（税込）も199,800 円と個人ユーザーでもより買いやすい価格帯の「UP Plus 2」をラインナップした。
同商品は、本体が幅２４５㎜×奥行き２６０㎜×高さ３５０㎜、重さ約５ｋｇと小型軽量化されたシンプルなフォルムの３Ｄプリンターであり、高品質の出力を実現した。米国の専門誌（雑誌名Make：）によると同クラスの中でもトップクラスの完成度という評価を得ている。
本機は、ＦＤＭ（熱溶解式）方式の３Ｄプリンターで、その最大の特長は、オートキャリブレーション機能を搭載したことにある。
熱溶解式はプラットフォームの微調整が必要であるが、同機能は、ソフトウエアにより最適なプラットフォームの位置を自動調節できる。このため、製作毎に必要なプラットフォーム調整の労力を軽減できる。
最大印刷領域は、幅１４０㎜×奥行き１４０㎜×高さ１３５㎜、最小積層ピッチ0.15㎜ で、0.4㎜ まで選択できる。ＰＬＡ・ＡＢＳ樹脂に対応している。
本体の色は、白、黒、赤、青の４色から選べる。
今回のUP Plus 2 追加により、同社のデスクトップ型３Ｄプリンターの品揃えは、MakerBot 社製Replicator2Ｘ、 Replicator2、３Ｄシステムズ社製CubeX、Cubify Cube など5 機種にラインナップされた。
同社は、UP Plus 2 に関して、年間販売台数１，２００台を見込んでいる。
◆主な仕様
最大造形サイズ：約Ｘ軸１４０㎜×Ｙ軸１４０㎜×Ｚ軸１３５㎜
電源：１００～２４０Ｖ、５０／６０Ｈｚ
外寸：幅２４５㎜×奥行き２６０㎜×高さ３５０㎜

重量：約５ｋｇ
対応ＯＳ：Ｗｉｎｄｏｗｓ、Ｍａｃ
同梱：UP! 3D Printer、 AC アダプター、 1.5 lbs ABS フィラメント、
3x Cellboards, ツールキット
メーカー保証：1 年間
【問合せ先】
◆ブルレー日本支社
本 社：東京都千代田区外神田5-1-7 森芳第二ビル２F
電 話：03（6803）0563
ＦＡＸ：03（6803）0584
URL：http://www.brule.co.jp
【報道関係者問い合わせ先】
◆広報担当：杉野 携帯電話：090（3219）7201
E-Mail ysugino@mte.biglobe.ne.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com